



会員の皆さん、コロナ禍のなかで本誌を見ていただきありがとうございます。現在、会員の皆さん一人ひとりがコロナ禍の社会のなかで、暮らし方・働き方を工夫しながら日々過ごされていることと思います。

大学生の13人に1人が金銭的な理由で退学を検討していること(高等教育無償化プロジェクトFREE調べ)に衝撃を受けました。また全国大学生協連「緊急!!大学生・大学院生向けアンケート」(大学生は35,542人)でも、具体的な大学生の苦しい生活状況が浮き彫りになっています。未来の社会・経済・政治・文化をつくる子ども・若者とともに、いのちが輝き、学習権などの基本的人権を保障する連帯・協同の取り組みを推進することが必要だと感じています。協同総研としては、ポストコロナ時代以降の「協同」の暮らし方、労働のあり方等を協同の発見誌やホームページを通して、会員の皆さんと考え合い、交流しあいたいと考えています。

ニュースを見ていると「自粛と社会活動・経済活動のバランス」をどう考えるのをよく聞きます。私自身もコロナ禍で緊急事態宣言が出され、保育園の登園自粛要請の関係で週1、2回の在宅ワークを行なっています。

在宅ワークを行なっただけの利点として、「1、通勤時間がなくなった。その分朝の家事が多くできる。2、ご飯をつくり、家族と一緒に食べる回数が増えたこと。3、子どもと関わりながら、成長を間近に感じ

ることができる。(自転車の乗ることができた。鉄棒の前廻りができた)4、今までつながっていない人ともオンライン会議を通じて、知り合うことができた。5、家ではお酒を飲まないの、健康的に痩せてきた。6、妻との会話が増えた。」

在宅ワークの課題は、「1、持ち運べない資料を参照しながらの資料づくりがあり、リアルタイムに対応することが難しい(ペーパーレス化とデジタル技術を使いこなすことの必要性)2、対面で話せないの、相手の気持ちや雰囲気が読みにくい 3、子どもたちが興味津々でWEB会議に入り込もうとする(笑)など集中する時間がなかなか取れない。4、普段あえていた人と共に食べることや会話ができない。5、仕事が必要最低限に絞られ実務的になる。(視野が狭くなる)6、保育園の登園回数が少なくなり、子どもたちの人間関係が深まらない。リズムが崩れる。」などを感じています。

在宅ワークの利点と課題を振り返ると、家族との関わりが増したことは嬉しいですが、家族以外の人と関わる手ごたえ感が得られないことは残念なことだと感じています。コロナ感染が一定落ち着き、緊急事態宣言が解かれても、在宅ワークの働き方を継続したい人も多く出てくるように感じています。その意味で、コロナが発生する前の日本社会には戻れず、コロナ禍を経験するなかで、自分がどのように生きたいのかを軸とした暮らし方・働き方を考える人が増えていくのではないのでしょうか。私はコ

コロナ禍で変わっていくものと変わっていかないものが顕在化していくと思います。変わっていくものとしては、「処し方(対応方法)」であり、変わっていかないものは「あり方(理念)」であると思います。処し方(対応方法)としては、在宅ワークの働き方であり、あり方(理念)としては協同・連帯・関係性がより重要になってくると考えています。

現在、ワーカーズコープの現場では、コロナ禍のもと、利用者・労働者等の関係者の安全に最大限配慮しながら、日々奮闘しています。ワーカーズコープが委託運営している東京板橋区の「いたばし生活仕事サポートセンター」では、生活困窮者自立支援法に基づき、就労・生活両面の相談を行っています。4月は約1,000件の相談があり、通常の10倍の相談件数が寄せられています。病院の清掃現場では、コロナ感染者を受け入れる病院での環境整備に取り組むなかで、ワーカーズコープが開発した「クリーンキラーA」(次亜塩素酸水)が大きな役割を果たしています。クリーンキラーAは自治体や公共施設への寄贈・販売なども行い、日常生活・文化には欠かせない取り組みとなっています。次号では、ワーカー

ズコープがキーワーカー(エッセンシャルワーカー)として、コロナ禍でのいのちと暮らしを守る現場の取り組みの現況、ポストコロナ時代の協同をどう考えるのかを掲載予定です。コロナ禍で大失業時代に突入するなかで、協同の力で失業者・市民が就労を創出していくことが今後の取り組みの焦点になると考えています。

6月27日(土)「第8回一般社団法人協同総合研究所(通算30回)」をWEBで開催する予定です。本来は労働者協同組合法が国会で成立する可能性が高まっている情勢です。ですのでいつも以上に対面で総会を開催したいと考えていたので残念です。その代わりとまでは言えないかもしれませんが、法制定され、コロナ禍が一定収束したときに、皆さんと共に喜びを爆発させる機会をつくりたいと思っています。多くの人が集まる対面の場はそこまでとっておきたいと考えています。

協同総合研究所が設立30周年を迎える年に、「協同の研究・調査・政策提言・交流・学び」の拠点を会員の皆さんとともにつくる意味で、総会へのご参集をお願いいたします。

■緊急事態宣言下の協同総合研究所の対応として■

4月7日に政府から発出された緊急事態宣言は、5月6日以降も延長となりました。これに対し、「感染拡大」を予防することはもちろんのこと、今こそ人と人、人と自然が「協同」する研究・営みをより意識的に行う必要があると考えております。そこで在宅によるテレワークの導入とともに、現在最低1名は出勤体制をとっております。しかし今後、常駐体制が整わないことも想定されるため、問い合わせはメール(kyodoken@roukyou.gr.jp)でいただければと思います。(電話対応になりますと、ご照会いただいた時間以上にお時間を要する可能性があります。)

これからは新型コロナウイルスと一定期間共存するフェーズに入ると考えられます。皆さんの生活にも大きな変化が起きているかと思いますが、「協同」に関するコミュニティを一緒に歩み、つくりながら、人間の尊厳・自由・いのちが大切にされる社会を目指して活動していきたいと思っております。

今後ともよろしくお願ひいたします。

(協同総合研究所 事務局)

研究所活動日誌 (2020.4.16~5.15)

※コロナウイルスで予定していた会合が相次いで中止となっています。

4月

- 16日(木) センター事業団全国所長会議
- 18-19日(土-日) Earth Day 2020(オンライン開催)
- 20日(月) 社会的企業研究会運営委員会(WEB)、緊急労協連合同常勤5役会議
- 21日(火) 千葉大学寄附講座会議(WEB)
- 22日(水) センター事業団未来人財部部会、日本社会連帯機構事務局会議
- 23日(木) センター事業団 理事会
- 24日(金) 埼玉大学寄附講座内部打ち合わせ
- 27日(月) 協同総研事務局会議(議案討議)、日本協同組合学会常任理事会
- 28日(火) 日本協同組合学会常任理事会
- 30日(木) 工藤会員、高成田会員と懇談(WEB)

5月

- 1日(金) センター事業団未来人財部部会
- 9日(土) JYCフォーラム理事会

- 12日(火) 労協連合同5役会議
- 13日(水) 協同総研事務局会議
- 14日(木) 文章編集の勉強会
- 15日(金) 協同組合関係研究所等交流会実行委員会(WEB)

今後の活動予定 (2020.5.16~6.30)

※コロナウィルスの影響で、予定が変更する場合があります。

5月

- 18日(月) シンポジオン(WEB)
- 19日(火) 埼玉大学寄附講座打ち合わせ
- 22日(金) 日本社会連帯機構理事会
- 23日(土) 第5回 協同総合研究所 理事会
- 25日(月) 第3回労働関係研究所・団体座談会
- 28日(木) 労協連 理事会
- 29日(金) センター事業団 理事会

6月

- 2日(火) 労協連合同5役会議
- 5日(金) 日本協同組合学会理事会
- 13日(土) 法政大学『連帯社会とサードセクター』出講(相良)
- 18日(木) 労協連、センター事業団 理事会
- 19-20日(金-土) 日本労協連総会
- 20-21日(土-日) センター事業団総代会
- 27日(土) 協同総合研究所 総会

協同の発見誌活用プロジェクト

「協同」

の

実践・研究の宝庫

今、知りたい情報と聞きたいテーマがここに!!

一般社団法人 協同総合研究所

特別価格

1冊 1,000円

販売中!!

会員募集中!!

■年会費：個人会員／購読会員 12,000円

学生・障がい者 6,000円

団体会員 30,000円

■会員サービス：会員の方は、総会への参加(年1回)及び下記のサービスが受けられます

- ・所報『協同の発見』誌(毎月1回)の会員価格適用での頒布
- ・各種研究会への参加費の会員価格適用
- ・書籍購入の際の会員価格適用

【購入申込書】



完成しました！

ワーカーズコース 協同ではたらくガイドブック — 入門編 —

特徴

- ✓ ワーカーズコースを知らない人にも分かりやすい構成
- ✓ 実践している人の声を掲載し、働き方をイメージできるように
- ✓ 「立ち上げプロセス」では、手順やチェックポイントで詳細を解説

Contents

第1部 ワーカーズコープで働く

私たち協同労働やっています！/私たちは協同労働で挑戦する/協同労働 ワーカーズコープが発見した新しい働き方とは？/リーダーたちの本音トーク/協同労働への期待

第2部 ワーカーズコープを立ち上げる

ワーカーズコープ立ち上げプロセス/よい仕事のための心がけ/はじめるまえに知りたい協同労働Q&A/仕事おこし実践事例/海外事例 スペインにおけるワーカーズコープ

〈資料〉「労働者協同組合」の法制化/連絡先一覧/協同総合福祉拠点/協同労働の協同組合の原則/むすびに

“

わたしたちが暮らす地域で、わたしたちに必要な仕事を、わたしたち自身がおこす。ワーカーズコープが実践するのは、そんな「働きたい」「生きがい」を育てる新しい働き方。 — 「はじめに」より — ”

2019年9月30日発行

発行・制作 一般社団法人 協同総合研究所

定価：500円（税込）

会員・組合員：300円（税込）

ご注文FAX番号 03-6907-8034

下記の**太枠**に必要事項をご記入の上、協同総合研究所にお送りください。

ワーカーズコース
協同ではたらくガイドブック—入門編—

定価：500円（税込）

会員・組合員：300円（税込）



ご注文コード
こちらのコードから
ご注文いただけます。

ふりがな ご氏名	購入部数	部
所属先		
送付先 〒 -		
電話番号 - -	メールアドレス	

一般社団法人 協同総合研究所

TEL: 03-6907-8033

E-mail: kyodoken@roukyou.gr.jp

※お名前、ご住所などの個人情報の記入欄を設けてありますが、個人情報は書籍の発送・請求以外の目的に使用することはありません。また、ご本人の同意なく第三者に提供することございません。